

(旧)

2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、愛知県の定める「ICT活用工事(土工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工(修繕工))実施要領」、「ICT活用工事(河川浚渫)実施要領」、「ICT活用工事(作業土工(床堀))実施要領」、「ICT活用工事(付帯構造物設置工)実施要領」、「ICT活用工事(法面工)実施要領」、「ICT活用工事(地盤改良工)実施要領」、「ICT浚渫工(港湾)実施要領」、「ICT基礎工(港湾)実施要領」、「ICTブロック据付工(港湾)実施要領」及び「ICT海上地盤改良工：床掘工・置換工編(港湾)」の規定によるものとする。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等(土木工事現場必携第6章資料6-37公的機関等一覧表参照)で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について』(平成29年3月1日付け、28建企第505号に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

(新)

2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、愛知県の定める「ICT活用工事(土工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工(修繕工))実施要領」、「ICT活用工事(河川浚渫)実施要領」、「ICT活用工事(作業土工(床堀))実施要領」、「ICT活用工事(付帯構造物設置工)実施要領」、「ICT活用工事(法面工)実施要領」、「ICT活用工事(地盤改良工)実施要領」、「ICT活用工事(土工1000m³未満)実施要領」、「ICT活用工事(小規模土工)実施要領」、「ICT活用工事(構造物工(橋脚・橋台))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工)実施要領」、「ICT活用工事(擁壁工)実施要領」、「ICT浚渫工(港湾)実施要領」、「ICT基礎工(港湾)実施要領」、「ICTブロック据付工(港湾)実施要領」及び「ICT海上地盤改良工：床掘工・置換工編(港湾)」の規定によるものとする。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等(土木工事現場必携第6章資料6-37公的機関等一覧表参照)で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について』(平成29年3月1日付け、28建企第505号に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 留意事項等

別紙撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項に留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の**指示**により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を**協議**のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子成果品に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子成果品への格納方法（各種仕様）は「**愛知県デジタル写真管理情報基準（案）**」に基づくものとする。

4. その他

4-1 工事写真帳

標準仕様書第7編第13章道路維持における道路維持補修工事等の指示票による工事、または監督員の**指示**による場合は、工事写真は電子成果品に代えて工事写真帳で**提出**することができるものとする。

工事写真帳で提出する工事写真の提出部数及び形式は、次によるものとする。

- (1) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督員が**指示**するものは、その**指示**した大きさとする。
- (2) 工事写真帳はA4版とし、工事完了時に1部**提出**する。
- (3) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の撮影頻度を示すものを標準とする。
- (4) 小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

4-2 用語の定義

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 適宜とは、**設計図書**の仕様が写真により**確認**できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (2) フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、「写真管理基準」を参考に監督員と提出頻度等の**協議**の上、取り扱いを定めるものとする。

2-7 留意事項等

別紙撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項に留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の**指示**により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を**協議**のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子成果品に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子成果品への格納方法（各種仕様）は「**愛知県デジタル写真管理情報基準（案）**」に基づくものとする。

4. その他

4-1 工事写真帳

標準仕様書第7編第13章道路維持における道路維持補修工事等の指示票による工事、または監督員の**指示**による場合は、工事写真は電子成果品に代えて工事写真帳で**提出**することができるものとする。

工事写真帳で提出する工事写真の提出部数及び形式は、次によるものとする。

- (1) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督員が**指示**するものは、その**指示**した大きさとする。
- (2) 工事写真帳はA4版とし、工事完了時に1部**提出**する。
- (3) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の撮影頻度を示すものを標準とする。
- (4) 小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

4-2 用語の定義

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 適宜とは、**設計図書**の仕様が写真により**確認**できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (2) フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、「写真管理基準」を参考に監督員と提出頻度等の**協議**の上、取り扱いを定めるものとする。

※本基準に示す品質管理の工種番号は、「土木工事施工管理基準」（品質管理基準及び規格値）に示す工種番号と整合を取っている。

また、本基準に示す出来形管理の編章節番号は、「土木工事施工管理基準」（出来形管理基準及び規格値）に示す編章節と整合を取っている。

(旧)

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
1	セメント・コンクリート(転圧 コンクリート・ 覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	圧縮強度試験については、圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランブ試験		
		コンクリートの圧縮強度試験		
		空気量測定		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	コンクリート舗装の場合適用
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	
		コンクリートの洗い分析試験		
		ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 〔試験実施中〕	
		テストハンマーによる強度推定調査		
コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 〔試験実施中〕			
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 〔検査実施中〕	
		超音波探傷検査		
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 〔検査実施中〕	
		浸透探傷試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	
		放射線透過試験		
		超音波探傷試験		
		水セメント比試験		
		セメントミルクの圧縮強度試験		
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	
		ブルーフローリング	路盤毎に1回 〔試験実施中〕	
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	
		土の液性限界・塑性限界試験		
		含水比試験		

(新)

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔撮影時期〕	
1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕	圧縮強度試験については、圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランブ試験		
		コンクリートの圧縮強度試験		
		空気量測定		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕	コンクリート舗装の場合適用
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕	
		コンクリートの洗い分析試験		
	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回〔試験実施中〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により施工完了時の状況(全周)を提出する場合は、ひび割れ調査写真を代替することができる。	
		テストハンマーによる強度推定調査	対象構造物毎に1回〔試験実施中〕	
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時〔試験実施中〕	
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回〔検査実施中〕	
		超音波探傷検査		
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回〔検査実施中〕	
		浸透探傷試験	試験毎に1回〔試験実施中〕	
		放射線透過試験		
		超音波探傷試験		
		水セメント比試験		
		セメントミルクの圧縮強度試験		

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	1 土工	4 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	100m又は1 施工箇所1 回 〔掘削後〕	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」による場合は1 工事に1 回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
			3		盛土工	巻出し厚	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」における空中写真測量(UAV)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	
							100mに1 回 〔巻出し時〕	
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1 回 〔締固め時〕	
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	100m又は1 施工箇所1 回 〔施工後〕	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」による場合は1 工事に1 回 〔施工後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」における空中写真測量(UAV)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		
					盛土補強工（補強土（テールアルメ）壁工法）（多数アンカー式補強土工法）（ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	厚さ	40m又は1 施工箇所1 回 〔施工後〕	
			5		堤防天端工	厚さ 幅	100mに1 回 〔施工後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	1 土工	4 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	100m又は1 施工箇所1 回 〔掘削後〕	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1 工事に1 回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
			3		盛土工	巻出し厚	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術(面管理の場合)」における空中写真測量(UAV) および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	
							100mに1 回 〔巻出し時〕	
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1 回 〔締固め時〕	
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	100m又は1 施工箇所1 回 〔施工後〕	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1 工事に1 回 〔施工後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術(面管理の場合)」における空中写真測量(UAV) および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		
					盛土補強工（補強土（テールアルメ）壁工法）（多数アンカー式補強土工法）（ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	厚さ	40m又は1 施工箇所1 回 〔施工後〕	
			5		堤防天端工	厚さ 幅	100mに1 回 〔施工後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	1 土工	5 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	100m又は1 施工箇所1 回 〔掘削後〕	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」による場合は1 工事に1 回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」における空中写真測量（UAV）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		
			3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	80mに1回 〔巻出し時〕	
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	80m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」による場合は1 工事に1 回 〔施工後〕	
							・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」における空中写真測量（UAV）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	1 土工	5 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	100m又は1 施工箇所に1 回 〔掘削後〕	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」による場合は1 工事に1 回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術（面管理の場合）における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		
			3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	80mに1回 〔巻出し時〕	
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	80m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術(面管理の場合) 」による場合は1 工事に1 回 〔施工後〕	
							・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術（面管理の場合）における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	3 一般施工	4 基礎工	8		ニューマチックケーソン 基礎工	査	1 基毎に 1 回 〔据付後〕	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況 載荷状況	1 ロット毎に 1 回 〔設置後及び型枠取外し後〕	
						載荷状況	1 基に 1 回 〔載荷時〕	
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1 基に 1 回 〔施工時〕	
			9		鋼管矢板基礎工	査	1 基毎に 1 回 〔据付後〕	
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況 載荷状況	1 基毎に 1 回 〔設置後〕	
						載荷状況	1 基に 1 回 〔載荷時〕	
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1 基に 1 回 〔施工時〕	
		5 法面工	2		法面整形工 （盛土部）	仕上げ状況 厚さ	100m又は1 施工箇所につき1 回 〔仕上げ時〕	
			3	1	法枠工 （現場打法枠工） （現場吹付法枠工）	法長、 幅、 高さ、 吹付枠中心間隔	100m又は1 施工箇所につき1 回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案） 法面工編 」に 基づき写真測量に用いた画像を納品 する場合には、写真管理に代えるこ とができる。	
			2		法枠工 （プレキャスト法枠工）	法長	100m又は1 施工箇所につき1 回 〔施工後〕	
			6		吹付工 （コンクリート） （モルタル）	清掃状況	200㎡又は1 施工箇所につき1 回 〔清掃後〕	
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200㎡又は1 施工箇所につき1 回 〔吹付前〕	
						法長	200㎡又は1 施工箇所につき1 回 〔施工後〕	
						厚さ（検測孔）	200㎡又は1 施工箇所につき1 回 〔吹付後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	3 一般施工	4 基礎工	8		ニューマチックケーソン 基礎工	査	1 基毎に 1 回 〔据付後〕	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況 載荷状況	1 ロット毎に 1 回 〔設置後及び型枠取外し後〕	
						載荷状況	1 基に 1 回 〔載荷時〕	
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1 基に 1 回 〔施工時〕	
			9		鋼管矢板基礎工	査	1 基毎に 1 回 〔据付後〕	
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況 載荷状況	1 基毎に 1 回 〔設置後〕	
						載荷状況	1 基に 1 回 〔載荷時〕	
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1 基に 1 回 〔施工時〕	
		5 法面工	2		法面整形工 （盛土部）	仕上げ状況 厚さ	100m又は1 施工箇所につき1 回 〔仕上げ時〕	
			3	1	法枠工 （現場打法枠工） （現場吹付法枠工）	法長、 幅、 高さ、 吹付枠中心間隔	100m又は1 施工箇所につき1 回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」に基づき写 真測量に用いた画像を納品する場合 には、写真管理に代えることが出来 る。	
			2		法枠工 （プレキャスト法枠工）	法長	100m又は1 施工箇所につき1 回 〔施工後〕	
			6		吹付工 （コンクリート） （モルタル）	清掃状況	200㎡又は1 施工箇所につき1 回 〔清掃後〕	
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200㎡又は1 施工箇所につき1 回 〔吹付前〕	
						法長	200㎡又は1 施工箇所につき1 回 〔施工後〕	
						厚さ（検測孔）	200㎡又は1 施工箇所につき1 回 〔吹付後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	1	アスファルト舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ転圧 状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	アスファルト舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧 状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	1	アスファルト舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ転圧 状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	アスファルト舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧 状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	3	アスファルト舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処 理工	敷均し厚さ転圧 状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
					4	敷均し厚さ転圧 状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	アスファルト舗装工 （基層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	3	アスファルト舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処 理工	敷均し厚さ転圧 状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
					4	敷均し厚さ転圧 状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	アスファルト舗装工 （基層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	6	アスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	200mに1回〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
				6	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 (撮影時期)		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	6	アスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	200mに1回 (整正後)		
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1 工事 1 回 〔実施中〕		
				6	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
							整正状況	各層毎200mに1回 (整正後)	
							厚さ	各層毎200mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1 工事に1 回 (整正後)	
							幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1 工事に1 回 (整正後)	
				2		コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
							整正状況	各層毎200mに1回 (整正後)	
			厚さ				各層毎200mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1 工事に1 回 (整正後)		
			幅				各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1 工事に1 回 (整正後)		

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	3	コンクリート舗装工 （セメント（石灰・瀝青） 安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	コンクリート舗装工 （アスファルト中間層）	幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 ブライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	3	コンクリート舗装工 （セメント（石灰・瀝青） 安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	コンクリート舗装工 （アスファルト中間層）	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 ブライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	5	コンクリート舗装工 （コンクリート舗装版工）	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						スリップバー、 タイバー寸法、 位置	40mに1回 〔据付後〕	
						鉄網寸法 位置	40mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
					目地段差	1工事に1回		
				6	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	5	コンクリート舗装工 （コンクリート舗装版工）	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						スリップバー、 タイバー寸法、 位置	80mに1回 〔据付後〕	
						鉄網寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
					目地段差	1工事に1回		
				6	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	7	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理する 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				8	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青） 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理する 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				9	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） アスファルト中間層	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	7	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				8	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青） 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				9	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） アスファルト中間層	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	10	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工）	敷均し厚さ 転圧状況	200mに1回 〔施工中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	
				11	コンクリート舗装工 （連続鉄筋コンクリート 舗装工）	石粉、プライム コート	各層毎に1回〔散布時〕	
						鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕	
						横断張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所1回 〔据付後〕	
						縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部 タイバー寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打 設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						目地段差	1工事に1回	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	10	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工）	敷均し厚さ 転圧状況	200mに1回 〔施工中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	
				11	コンクリート舗装工 （連続鉄筋コンクリート 舗装工）	石粉、プライム コート	各層毎に1回〔散布時〕	
						鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕	
						横断張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所1回 〔据付後〕	
						縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部 タイバー寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打 設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						目地段差	1工事に1回	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	7	1	薄層カラー舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				3	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	7	1	薄層カラー舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				3	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	7	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						厚さ	1,000mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				8	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	7	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						厚さ	1,000mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				8	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
				5	ブロック舗装工 (基層工)	タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
				5	ブロック舗装工 (基層工)	タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	9 地盤改良工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回 〔施工後〕		
			3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1 施工箇所1 回 〔施工後〕		
			5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1 施工箇所1 回 〔施工後〕		
			6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1 施工箇所1 回〔施工後〕		
			7		バーチカルドレーン工 （サンドドレーン工） （ペーパードレーン工） （袋詰式サンドドレーン工）	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1 施工箇所1 回 〔打込み前後〕		
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1 施工箇所1 回 〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕		
			8		締固め改良工 （サンドコンパクション パイル工）				
			9	1	固結工 （粉体噴射攪拌工） （高圧噴射攪拌工） （スラリー攪拌工） （生石灰パイル工）	位置・間隔 杭径	1 施工箇所1 回 〔打込後〕		
						深度	1 施工箇所1 回 〔打込前後〕		
							ただし、（スラリー攪拌工）において、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）固結工（スラリー攪拌工）編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
			2		固結工 （中層混合処理）	施工厚さ 幅	1,000㎡～4,000㎡につき1回、又は工 延長40m（測点間隔25mの場合は50m） につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）表層安定処理 等・固結工（中層混合処理）編」に より出来形管理資料を提出する場 合は、出来形管理に関わる写真管理項 目を省略できる。		
			12 仮設工	5	1	土留・仮締切工 （H鋼杭） （鋼矢板）	変位 根入長	40m又は1 施工箇所1 回 〔打込前〕	
							数量	全数量 〔打込前後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]		
3 工事 共通 編	3 一般 施工	9 地盤 改良 工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回 [施工後]		
			3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1 施工箇所1回 [施工後]		
			5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1 施工箇所1回 [施工後]		
			6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1 施工箇所1回 [施工後]		
			7		バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ベーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工)	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1 施工箇所1回 [打込み前後]		
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1 施工箇所1回 [打込後]		
						砂の投入量	全数量 [打込前後]		
			8		締固め改良工 (サンドコンパクション パイル工)				
			9	1	固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1 施工箇所1回 [打込後]		
						深度	1 施工箇所1回 [打込前後]		
							ただし、（スラリー攪拌工）において、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）固結工（スラリー攪拌工）編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
			2		固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000㎡～4,000㎡につき1回、又は工延長40m(測点間隔25mの場合)は50m)につき1回。 [施工厚さ 施工中] [幅 施工後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
			12 仮設 工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1 施工箇所1回 [打込前]	
							数量	全数量 [打込前後]	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	3 一般施工	12 仮設工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1 施工箇所につき1回 〔削孔後〕	
						配置誤差	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
				3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法長	80m又は1 施工箇所につき1回 ただし、根入部は40mにつき1回 〔施工後〕	
				4	土留・仮締切工 (締切盛土)	天端幅 法長	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
				5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	出来ばえ	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			9	地中連続壁工 (壁式)	連壁の長さ 変位	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		
			10		連壁の長さ 変位	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		
			22		法面吹付工		第3編3-3-6吹付工に準ずる	
	4 共通施工	1 共通関係	1	現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕		
					ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
					塗装状況	各層毎1 スパンにつき1回 〔塗装後〕		
					塗膜厚測定	1 スパンにつき1回 〔測定時〕		
			2	場所打擁壁工	裏込厚さ	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工中〕		
					厚さ 幅 高さ	80m又は1 施工箇所につき1回 ただし、根入部は40mにつき1回 〔型枠取外し後〕		
			3	プレキャスト擁壁工	据付状況	100m又は1 施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕		
			4	井桁ブロック工	裏込厚さ	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工中〕		
					法長 厚さ	80m又は1 施工箇所につき1回 ただし、根入部は40mにつき1回 〔施工後〕		
			5	アンカー工	削孔深さ	全数量 〔削孔後〕		
					配置誤差	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	3 一般施工	12 仮設工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1 施工箇所につき1回 〔削孔後〕	
						配置誤差	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
				3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法長	80m又は1 施工箇所につき1回 ただし、根入部は40mにつき1回 〔施工後〕	
				4	土留・仮締切工 (締切盛土)	天端幅 法長	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
				5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	出来ばえ	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			9	地中連続壁工 (壁式)	連壁の長さ 変位	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		
			10		連壁の長さ 変位	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		
			22		法面吹付工		第3編3-3-6吹付工に準ずる	
	4 共通施工	1 共通関係	1	現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕		
					ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
					塗装状況	各層毎1 スパンにつき1回 〔塗装後〕		
					塗膜厚測定	1 スパンにつき1回 〔測定時〕		
			2	場所打擁壁工	裏込厚さ	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工中〕		
					厚さ 幅 高さ	80m又は1 施工箇所につき1回 ただし、根入部は40mにつき1回 〔型枠取外し後〕 また、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合は 1 工事に1回 〔型枠取外し後〕		
			3	プレキャスト擁壁工	据付状況	100m又は1 施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕		
			4	井桁ブロック工	裏込厚さ	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工中〕		
					法長 厚さ	80m又は1 施工箇所につき1回 ただし、根入部は40mにつき1回 〔施工後〕		
			5	アンカー工	削孔深さ	全数量 〔削孔後〕		
					配置誤差	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	26	3	架設工 (コンクリート橋)	架設状況	架設工法の変わる毎に1回 〔架設中〕	
					架設工支保工 (固定)			
					架設工支保工 (移動)			
				5	架設工 (コンクリート橋)	架設状況	架設工法の変わる毎に1回 〔架設中〕	
					架設桁架設 (片持架設)			
					架設桁架設 (押出し架設)			
			27	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						転圧状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」により 「厚さあるいは標高較差」を管理する 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			2		半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						転圧状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」により 「厚さあるいは標高較差」を管理する 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	26	3	架設工 (コンクリート橋)	架設状況	架設工法の変わる毎に1回 〔架設中〕	
					架設工支保工 (固定)			
					架設工支保工 (移動)			
				5	架設工 (コンクリート橋)	架設状況	架設工法の変わる毎に1回 〔架設中〕	
					架設桁架設 (片持架設)			
					架設桁架設 (押出し架設)			
			27	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						転圧状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			2		半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						転圧状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	27	3	半たわみ性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	半たわみ性舗装工 （加熱アスファルト安定 処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	半たわみ性舗装工 （基層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
				6	半たわみ性舗装工 （表層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						浸透性セメント注入 状況	200mに1回 〔注入時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	27	3	半たわみ性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	半たわみ性舗装工 （加熱アスファルト安定 処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	半たわみ性舗装工 （基層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
				6	半たわみ性舗装工 （表層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						浸透性セメント注入 状況	200mに1回 〔注入時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	28	1	排水性舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	排水性舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	28	1	排水性舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	排水性舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	28	3	排水性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	排水性舗装工 （加熱アスファルト安定 処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	排水性舗装工 （基層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
				6	排水性舗装工 （表層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	28	3	排水性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				4	排水性舗装工 （加熱アスファルト安定 処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				5	排水性舗装工 （基層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
				6	排水性舗装工 （表層工）	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	29	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
				3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
			30	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理する 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多点 計測技術（面管理の場合）」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	29	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
				2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
				3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
			30	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により「厚 さあるいは標高較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	4 共通施工	4 道路関係	30	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
			31		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	100mに1回又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案) 舗装工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による 場合は1工事に1回 〔施工後〕	
						幅 延長 厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
			33		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔実施中〕	
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						整正状況	200mに1回 〔施工後〕	
			34		落橋防止装置工	アンカーボルト 孔の削孔長	全数量 〔削孔後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事共通編	4 共通施工	4 道路関係	30	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
			31		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	100mに1回又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場合 は1工事に1回 〔施工後〕	
						幅 延長 厚さ 平坦性	1施工箇所に1回 〔施工後〕 1工事1回 〔実施中〕	
			33		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔実施中〕	
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						整正状況	200mに1回 〔施工後〕	
			34		落橋防止装置工	アンカーボルト 孔の削孔長	全数量 〔削孔後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
7 道路編	1 道路改良	3 工場製作工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1 施工箇所に1回 〔製作後〕	
			7 カルバート工	6	場所打函渠工	厚さ 幅（内空） 高さ	80m又は1 施工箇所に1回 ただし、根入部相当箇所は40mに1回 〔型枠取外し後〕	
		9 落石雪害防止工	4		落石防止網工	幅	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
		10 遮音壁工	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回（施工前は 必要に応じて） 〔施工前後〕	
			5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
	2 舗装	3 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						転圧状況		
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕	
						整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タ ッ ク コ ー ト、 プライムコー ト	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1 工事に1回 〔実施中〕	
		4 橋面防水工			橋面防水工	塗布又は設置 状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
7 道路編	1 道路改良	3 工場製作工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1 施工箇所に1回 〔製作後〕	
			7 カルバート工	6	場所打函渠工	厚さ 幅（内空） 高さ	80m又は1 施工箇所に1回 ただし、根入部相当箇所は40mに1回 〔型枠取外し後〕	
		9 落石雪害防止工	4		落石防止網工	幅	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
		10 遮音壁工	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回（施工前は 必要に応じて） 〔施工前後〕	
			5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
	2 舗装	3 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						転圧状況		
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕	
						整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タ ッ ク コ ー ト、 プライムコー ト	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1 工事に1回 〔実施中〕	
		4 橋面防水工			橋面防水工	塗布又は設置 状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
7 道路編	2 舗装	4 排水構造物工 (路面排水工)	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	80m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	
			6 路掛版工	4	路掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	<コンクリート工> 各部の厚さ 各部の長さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
						<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ		
						<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長		
		8 標識工	4	1	大型標識工 (標識基礎工)	幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
				2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
		11 道路付属施設設工	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
				2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
			6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎3箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	
		3 橋梁下部	3 工場製作工	3	鋼製橋脚製作工	原寸状況	1 脚に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
						製作状況	適宜 〔製作中〕	
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 脚に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	
		4 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)構造物工編(試行)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
7 道路編	2 舗装	4 排水構造物工 (路面排水工)	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	80m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	
			6 路掛版工	4	路掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	<コンクリート工> 各部の厚さ 各部の長さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
						<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ		
						<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長		
		8 標識工	4	1	大型標識工 (標識基礎工)	幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
				2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
		11 道路付属施設設工	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
				2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
			6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎3箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	
		3 橋梁下部	3 工場製作工	3	鋼製橋脚製作工	原寸状況	1 脚に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
						製作状況	適宜 〔製作中〕	
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 脚に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	
		4 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
7 道路編	3 橋梁下部	5 R C 橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 構造物工編(試行)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	
				2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 構造物工編(試行)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	
		6 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外後〕	
				2	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外後〕	
			10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	
				2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	
			11		現場継手工	継手部のすき間	1 施工箇所1回 〔施工後〕	
	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1 橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
						製作状況	適宜 〔製作中〕	
	5 コンクリート橋上部	5 プレベーム桁橋工	2		プレベーム桁製作工(現場)	原寸状況	1 橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
						製作状況	適宜 〔製作中〕	
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	
						幅 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
	6 トンネル(NATM)	4 支保工	3		吹付工	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						湧水状況	適宜 〔掘削中〕	
						吹付面の清掃 状況	80m毎に1回 〔清掃後〕	
						金網の重合せ 状況	80m毎に1回 〔2次吹付前〕	
						吹付け厚さ (検測孔)	80m毎に1回 〔吹付後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
7 道路編	3 橋梁下部	5 R C 橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	
				2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	
		6 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外後〕	
				2	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外後〕	
			10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	
				2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	
			11		現場継手工	継手部のすき間	1 施工箇所1回 〔施工後〕	
	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1 橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
						製作状況	適宜 〔製作中〕	
	5 コンクリート橋上部	5 プレベーム桁橋工	2		プレベーム桁製作工(現場)	原寸状況	1 橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	
						製作状況	適宜 〔製作中〕	
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	
						幅 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
	6 トンネル(NATM)	4 支保工	3		吹付工	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						湧水状況	適宜 〔掘削中〕	
						吹付面の清掃 状況	80m毎に1回 〔清掃後〕	
						金網の重合せ 状況	80m毎に1回 〔2次吹付前〕	
						吹付け厚さ (検測孔)	80m毎に1回 〔吹付後〕	